

タッチタイピングをマスターしよう!

はじめに

タッチタイピングの練習をはじめる前にならざる守りたいことが3つあります。

1. 正しいタイピング姿勢をととのえること

- ・イスの高さはパソコンの画面を少し見下ろせるくらいに調整しましょう。
- ・イスに深く座り、背筋はピンとのぼし、手はホームポジションにおきます。
- ・練習を始める前にとりのお友達と確認し合しましょう。



2. 指はホームポジションにならざる戻すこと

- ・左手の人さし指を「F」、右手の人さし指を「J」におきます。
- ・文字を入力したあとは、かならずホームポジションに指を戻しましょう。
- ・最初は難しくても、だんだんと慣れてできるようになります。



3. どんなに不安でも、キーボードは見ないこと

- ・キーボードを見てしまうと、いつまでたっても覚えられません!
- ・どうしても見てしまう時は、キーボードの上にタオルをおいてみましょう。
- ・慣れるまでは大変ですが、「ぜったいに見ないぞ!」という気持ちでがんばりましょう。

練習してみよう

パソコンが苦手な先生でも大丈夫!!

★「パソコン入力チャレンジ(PIC)」で練習をしてみよう!

PICを使えば、タッチタイピングがはじめての人～中級レベルの人が、ステップ1から10まで自分のレベルに合わせて練習できます。

ホームポジションを覚える練習から、アルファベット・ローマ字・数字・和文(日本語の文)を打つ練習ができ、ステップが上がってくると、ひらがな→漢字への変換練習もできるようになります。また、1課題進むごとに、「S・A・B・C・D」の5段階で成績をつけてくれます。Sレベルでの合格を目標にしながら、ステップ10をめざしましょう!



☺ PICソフトはここからダウンロードできます。 <http://www.maipaso.net/maipaso/manabi.html>

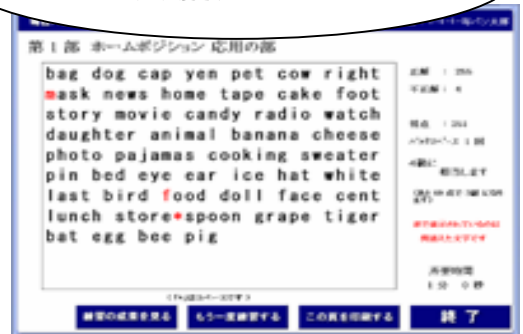
★「毎パソ」で練習をしてみよう！

「毎パソ」ソフトは、アルファベット(ホームポジション)、ローマ字、和文、英文、数字記号と5つのカテゴリーにわかれています。練習する時は、自分のレベルに合ったカテゴリーを選びましょう。和文入力では、ひらがな→漢字への変換をしなくてはなりません。まずは、単文節変換、そして連文節変換へと順番に進んでいきましょう。

<単文節変換とは？>

活用を含める1つの文節単位で変換する方法です。たとえば、「さく」と入力し、「咲く」に変換することです。しかし、「さく」だけでは名詞(柵、酢など)、動詞(咲く、裂くなど)がどちらも変換候補に出てくるので、変換したい漢字を探し出すまでに時間がかかってしまいます。

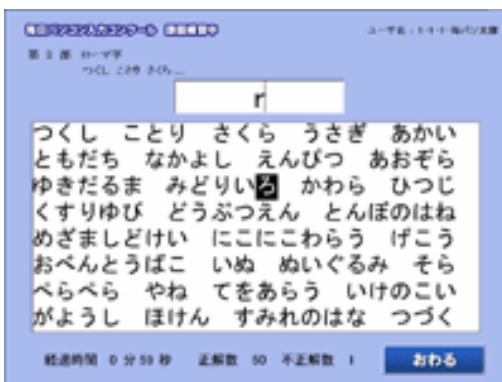
毎パソでは、入力が終わるとすぐに自動採点してくれるよ！



<連文節変換とは？>

連文節変換は、複数の文節を一度に変換する方法です。たとえば、「はながさく」と複数の文節を一度に入力し、一回で「花が咲く」に変換することです。一度にいくつもの文節を入力することで、パソコンが「さく」の部分をもとに動詞だと読み取ってくれます。「はな」という言葉も色々な漢字がありますが、「はながさく」や「はなをかむ」など文章を一度に入力することで、自分の使いたい漢字が変換候補の上の方に出てきます。単文節変換ができるようになったら連文節変換の練習もしましょう。

「毎パソ」基礎練習画面



「毎パソ」実践練習画面



😊 「毎パソ」大会用ソフトはここからダウンロードできます。 <http://maipaso.net/dl/>

練習をかさねていくと、だんだんと「速く、正確に」打てるようになります。
あきらめずに、いっしょうけんめい頑張らしましょう！